

成果の説明書

(氏名) 高橋 済	(学部) 経済学部
1 重要事項 【研究活動】 ◆ 論文執筆 ① 令和 4 年①に掲載した、自治体の保育所に係る戦略的相互参照行動仮説を地域別に検証した、“Interactions among Local Governments over the Provision of Nursery Facilities: Comparison between Two Metropolitan Areas” (改題)を改訂し、査読誌への投稿作業を実施した。 ② 令和 4 年②に掲載した、同仮説の競争形態の識別する研究である、“Strategic Behaviors in Developing the Provision Policy for Nursery Facilities in Japan: Resource-Flow or Yardstick?” の執筆を完了、査読誌に投稿した(審査中)。 ◆ 研究報告 ① 報告”保育政策における参照行動再考・実験的枠組を用いて-”を、財政ワークショップ(日本経済国際共同研究センター: 東京大学)において実施した (2023 年 4 月 28 日)。 ② 報告”A Study of Regional Sustainability in Japan: Migration, Economy, and Demographics”を、日本経済学会 2023 年度春季大会(南山大学)において実施した (2023 年 5 月 27 日)。 ③ 報告”On Strategic Behavior in the Provision Policies in Nursery Facilities: Resource-Flow or Yardstick?” を、日本財政学会オンライン研究会第 8 回研究会において実施した (2023 年 6 月 24 日)。 ④ 報告” 保育政策における参照相互行動・競争形態の識別-” を、2023 年度日本経済学会秋季大会(関西大学)において実施した (2023 年 9 月 16 日)。 【教育活動】 ◆ 現代経済入門Ⅰ・Ⅱ それぞれの授業で、前半に経済学の基本的な考え方(Ⅰではマクロ経済学、Ⅱではミクロ経済学)を解説し、後半で具体的な社会経済のトピックを経済学により解釈する形式の授業を行った。専門用語の整理や教科書の学習法などの大学での基本的な学習方法に焦点を当て、teams や forms 当のプラットフォームを活用することで、学生が学習に取り組みやすい授業を模索した。 ◆ 中級マクロ経済学Ⅱ 本学におけるマクロ経済学のコースの一環として、金融政策・財政政策や経済成長論などの発展的なトピックを扱う講義を実施した。これらのトピックの学習に当たって学生が必要と思われる、数学に関する知識や、マクロ経済学の基礎の復習を適宜実施し、これらを扱う練習問題も実施した。 ◆ 基礎演習 12 名の学生を担当。経済学の基本的な知識を確認するために、“経済学入門 15 講 (新世社)”を、各自(2 名 1 組)が報告する形式で輪読した。教科書の難易度がやや高かったため、報告の間にディスカッションや解説を行った。また、報告の合間には、文章の読み方、データ・論文の調べ方、アカデミック・ライティングの要点などをフォローするレクチャーを行った。 ◆ 演習Ⅰ 8 名の学生を担当。財政学・公共経済学の教科書である”ステイグリッツ 公共経済学 第 4 版 上・下 (東洋経済新報社)”を、各自(2 名 1 組)が報告する形式で輪読した。報告の合間には、文章の書き方に関するレクチャーを行い、卒業研究のテーマ設定とテーマに関する短文を作成する課題を行った。	

2 その他の事項

- ◆ **地域貢献活動** ラジオゼミナール(ラジオ高崎)に出演し、研究テーマや学生の特色、プロフィールを解説した(2023年10月20日、2023年10月27日)。
- ◆ **社会貢献活動** 財務総合政策研究所(財務省)より、年金財政の長期推計に係るプログラムの調査結果をまとめた、報告書『年金財政検証の推計プログラムの利用方法とその応用』を発行した(共著)。

3 次年度以降の計画・抱負

【研究活動】

- ◆ 論文執筆については、学会報告や投稿作業と通じた研究の精緻化を行い、国内・国外の査読誌での既存研究の公刊に努める。
- ◆ 『国勢調査』の職業別人口移動データを用いて、マクロ経済学の収束仮説を日本の都道府県を対象に実施する。この研究は次年度、広く公表する。
- ◆ 国内の学会・研究会で積極的に報告を実施する。

【教育活動】

- ◆ 教育活動全般については、学生のニーズの把握に努め、授業形式の改善を引き続き行っていきたい。
- ◆ 現代経済入門Ⅰ・Ⅱについては、トピックの調査や改訂を行い、新聞記事等も時事性を踏まえたアップデートを実施したい。
- ◆ 中級マクロ経済学Ⅱにおいては、学生が効率よくマクロ経済学を学習できるよう、練習問題の検討、改定を行っていきたい。
- ◆ 基礎演習・演習Ⅰ・演習Ⅱでは、学生の意見を踏まえつつ、学生の関心を惹起するような校外学習を検討していきたい。

【その他の事項】

- ◆ 昨年同様に地域のニーズに応じて研究・教育活動を行うほか、財務省での研究活動に加え、地域経済に係る研究も実施し、研究者としての特性を生かした多層的な社会貢献を行って行く予定である。